

米代新報2015年5月25日(月)



ぬいぐるみがお泊まり

花輪 図書館 読み聞かせを楽しむ

ぬいぐるみと一緒に読 輪図書館で二十四日、「ぬ
み聞かせ」。鹿角市の花 いぐるみお泊まり会」と

初めて開かれた「ぬいぐるみお泊まり会」

いうイベントが開かれ、子どもたちがお気に入りぬいぐるみと一緒に絵本の読み聞かせを楽しんだ。この子どもたちが持参したぬいぐるみは一晚、同図書館に「お泊まり」し、ぬいぐるみたちの夜の様子をスタッフが撮影し、後日図書館内や同図書館のFacebookに掲載する。

午後三時から「コモッセ」内の同図書館で開かれたイベントでは初めに、佐藤美津子さんが「はらぺこ青虫」の大型絵本で音楽と歌での読み聞かせを披露。お腹をすかせた小さな青虫が色んな物を食べて、最後には太った大きな青虫になるという話。佐藤さんは青虫のぬいぐるみを片手に、子どもたちに優しく歌でメッセージを送った。

続いて、瀬川悦子さんが「あかちゃんのむかしむかし」から「にんじんさんがあかいわけ」などを語った。ゴボウとニンジン、ダイコンが風呂に入り、ゴボウはよく洗わず出たので今でも土がついたまま、ニンジンは熱いのを我慢して入ったため赤い色に、ダイコンは丁寧に洗ったので今でも白いまま。瀬川さんはゴボウ、ニンジン、ダイコンの着せ替え人形にも演技させ、子どもたちを楽しませた。